様式第１号

令和４年度　学校経営計画書

学校番号	10	学 校 名	静岡県立田方農業高等学校	校 長 名	久保田　豊和

１　目指す学校像

(1) 教育目標

校訓「誠実・勤勉・自治」の精神に基づき、幅広い教養と専門的知識・技能を身につけ、豊かな心と高い志を持って、持続可能な社会づくりと地域産業・文化の発展に貢献できる有為な人材を育成することを目標とし、以下の学校を目指す。

ア　農業を学ぶための最適な学習環境が整備され、生徒の誇りや自信につながる特色ある教育を行う学校
イ　農業教育をとおし、命の大切さや他者をいたわる心、人間愛に満ちた高い道徳心を育てる学校
ウ　自らの能力を伸ばし、その能力や個性を生かして、地域や社会に貢献できる人物を輩出する学校

(2) 目標具現化の柱

ア　専門的知識・技能の習得と学力の向上
イ　自己指導能力及び社会性の育成
ウ　キャリア教育を根幹とした進路指導の充実
エ　学校農業クラブ・生徒会活動及び部活動の充実
オ　心を豊かにする教育と共生・共育の推進
カ　安全で安心な教育環境の確保
キ　保護者・地域社会との連携推進
ク　業務改善及び教職員研修の推進

２　本年度の取組

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	**農業教育の専門性の向上と基礎学力の定着**	・第４次アクションプランを念頭に農業部・各学科の具体的な目標を設定し、遂行する。 ・各科の指導体制を整え、農業クラブ意見発表、プロジェクト発表、農業鑑定競技の上位入賞を目指す。	・第４次アクションプラン達成率向上（昨年度比） ・農業クラブ全国大会（意見・プロジェクト発表）出場１部門以上（農業鑑定競技）入賞７人以上	農業科
		・課題研究を充実させるとともに、資格取得に意欲的に取り組ませ、専門性を向上させる。	・資格取得数が前年度実績以上 ・アグリマイスター制度の円滑な実施 ・課題研究の題目、実施計画の指導が充実したとする自己評価 70%以上 ・日本農業技術検定３級合格者が全学科 75%以上	農業科
		・専門的知識や技能の充実を図るため、講師招請、高大連携事業を積極的に活用する。	・講師招請７回以上、高大連携２回以上 ・講師招請、高大連携が効果的に活用できたとする自己評価 80%以上	農業科
		・各授業での課題や課題テストを定期的に実施し、家庭学習時間を増加させる。	・家庭学習が習慣化したとする自己評価 60%以上	教務課 各教科
		・到達度テスト及び進路テストの事前・事後指導を計画的に実施し、基礎学力を定着させる。	・基礎学力が定着したとする自己評価 70%以上	各教科 進路課 学年部

様式第１号

		・学習意欲を引き出す教科指導を行うため、授業内容の改善とＩＣＴを活用した指導の工夫に努める。	・授業改善のための教科、学科内の研修および研究授業を実施　１回／年 ・ＩＣＴを活用した授業ができたとする自己評価 100% ・相互授業参観、年２回以上 ・生徒授業アンケート年２回の実施と授業への還元	教務課 研修課 農業科 各教科
イ	**自己指導能力及び社会性の育成**	・授業規律の徹底を前提として、自発的・共感的な学びができる授業環境づくりに努める。	・自発的・積極的に授業に参加できたとする生徒 80%以上 ・常に授業を大切にし、準備をして臨むことができたとする生徒 80%以上 ・授業で自分の意見や考えを持ち、他者の意見を認めることができたとする生徒が 90%以上	教務課 各教科
		・登校指導を毎日行い、遅刻者数を減少させる。 ・学校生活のあらゆる機会をとおして、校則やマナー、社会規範を理解し、遵守できる生徒を育てる。	・遅刻者数の平均が１日３人以下 ・校則やマナーを守れたと自覚する生徒 80%以上 ・登校指導、頭髪・服装等の指導に共感できる保護者 85%以上 ・交通ルールや乗車マナーを遵守し、安心して通学できていると感じる生徒 85%以上 ・生徒指導件数３件以下、生徒の交通事故５件以下	生徒課 学年部
		・教員からも積極的に声を掛け、自ら挨拶のできる生徒を育てる。	・自ら進んで挨拶のできる生徒の割合 80%	生徒課 学年部
ウ	**キャリア教育を根幹とした進路指導の充実**	・生徒の進路意識を高めるため、ホームルーム活動、田農ゼミおよび社会体験活動を効果的に実施する。	・生徒の進路意識が高まったとする自己評価割合 80%以上	進路課 農業科 学年部
		・進路課、学科及び担任と連携した指導により進路希望の 100%達成を目指す。	・生徒が納得できる進路実現率 大学・短大 80%以上 専門学校　90%以上 就職　85%以上	進路課 農業科 学年部
		・就職、進学に対応する力を養うため、面接、小論文指導・補習を計画的に実施する。	・進学・就職の指導が十分行われていると感じる生徒 90%以上 ・進路に関する情報が提供され、きめ細かい指導が行われていると感じる保護者 80%以上	進路課 各教科
エ	**学校農業クラブ、生徒会、部活動の活性化と自主性の育成**	・リーダーの育成と生徒の自主性を育てるため、学校農業クラブ、生徒会の活動を推進する。	・学校農業クラブ活動について積極的に関わったとする生徒 70%以上 ・学校行事等を積極的に行うとする生徒 90%以上	農業科 生徒課
		・適正な指導時間など、効果的で効率の良い部活動指導に努め、心身の育成と学業との両立をめざす。	・県大会出場部活動 60% ・部活動中のケガ・事故、昨年比減 ・部活動ガイドラインに則った活動計画の適正な遂行 100% ・テスト前部活動休止の徹底 ・部活動が活発で生徒に充実感をもたらしているとする保護者 85%以上	生徒課 各部活動

様式第１号

オ	**共生・共育の定着と心を豊かにする教育の充実**	・伊豆田方分校及び外部との交流活動を各科で計画的に実施し、共生・共育を充実させる。	・共生・共育の交流活動４回以上	教務課 農業科
		・農業教育や日常の活動をとおして、他者へのいたわりや命を大切にする心を養う。	・豊かな心や命を大切にする心が育っているとする保護者 90%以上	農業科
		・教養と情操豊かな生徒を育てるため、朝読書の質の向上と図書館の利用を増やす。	・図書館だよりの発行８回／年 ・図書貸し出し数３冊／人 ・授業などでの図書室の活用、月平均５時限以上 ・朝読書の意義を理解し、有効に活用できたとする生徒 60%以上	図書課 学年部
カ	**安全・安心な教育環境の整備と美化の促進**	・新型コロナウイルスの感染予防を徹底し、安心して教育活動が行える環境づくりに努める。	・校内クラスターの発生０件 ・「学校の新しい生活様式」に基づいた活動ができたとする生徒 90%以上	保健課 全職員
		・学習環境保全のため、教室や農場施設等の管理点検を徹底し、施設設備の保全・美化に努める。	・安全を優先した日常的な整理整頓・不要物等の廃棄、計画的な改修に努める。 ・施錠管理を徹底する。（外部からの盗難０件） ・校内美化活動３回／年 ・清潔な学習環境の保全ができたとする自己評価割合 80%以上	事務室 農業科 保健課 全職員
		・教育相談的視点での指導推進と教育相談室との連携強化	・特別支援体制、教育相談体制の円滑な運営を図る。 ・通級指導への理解と連携の充実 ・教育相談便り 10 回／年	相談室
		・職員一人一人が自覚し、個人情報の漏洩防止を徹底する。	・校務系ファイルサーバーの適切な利用と管理を図る。 ・個人情報漏洩の事故０件	情報室
キ	**地域・保護者との連携と教育情報の効果的な提供**	・教育情報と学校の魅力発信のため、学校ホームページの活用や各種たよりの改編、新たな情報発信を積極的に進める。	・広報活動のさらなる推進（学校案内のリニューアル、体験入学・公開授業・学校見学会の等の内容検討、各種パンフレットの活用推進等） ・クラスにおけるグーグル classroom の活用 100% ・新しい学校ホームページの活用による情報発信（年間 100,000 アクセス）	総務課 情報室 担任
		・地域の特性を生かした農業教育を推進するため、ＪＡや地元農家・企業との連携を深める。	・地元農家招聘２回 ・ＪＡや地元農家・企業との連携が促進されているとする自己評価 70%以上	農業科
		・地域、保護者と連携した防災計画・訓練の見直しを行う。	・地域防災訓練参加生徒 80%以上、参加職員 25 人以上 ・伊豆田方分校との連携を強化	総務課 全職員
ク	**業務改善及び教職員研修の推進**	・各種研修会への参加や、先進農業高校、農業関係機関等への視察・交流等を促進する。	・各種研修会への参加及び視察の回数３回／年	研修課 農業科

様式第１号

		・新学習指導要領に準拠した適切な評価の実現のために、校内研修（年３回）を進める。	・教科（学科）ごとに足並みがそろった評価ができたという自己評価 70%以上	研修課 教務課 全職員
		・外部人材に依頼して、部活動指導等の負担を軽減する。	・部活動指導員、スポーツエキスパート、文化の匠、学習支援事業等の県事業が適切に活用できる。100%	各部活動 管理職 事務室 全職員
		・教職員がコミュニケーションを図り、連携・協力して効率よく業務を進める。 ・休暇取得の励行 ・農業部における日直や生徒当番指導における業務改善 ・適正な退勤時間の推進	・勤務管理システムの正しい入力の徹底 ・週１回の定時退勤日（月曜日）の徹底 ・各部活動で設定している週１回以上の休業日の完全実施 ・部活動ガイドラインの適正な履行をすすめる。 ・夏季休暇の取得率 100% ・１ヶ月あたりの時間外勤務 45 時間以内、年間 360 時間以内 ・定時退勤日 午後４時 45 分退勤励行 午後６時完全退勤 平常日 午後７時退勤励行 午後８時完全退勤	各部活動 農業科 管理職 事務室 全職員
		・コンプライアンスの意識を徹底し、不祥事の根絶を図る。	・コンプライアンス研修毎月１回実施（職員会議内） ・教職員の不祥事０、体罰０、交通事故０	